令和2年4月■日

▲▲株式会社

▼▼　様

◆◆株式会社

代表取締役　◆◆

# 家賃減額のお願い／家賃支払い繰り延べのお願い／家賃一部支払猶予のお願い

拝啓　時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

さて弊社は創業以来、常にお客様の幸せと満足のため絶え間ない挑戦を続けてまいりましたが、昨今の「新型コロナウイルス（COVID-19）」の発生に伴い、お客様の思考も著しく変化し、弊社の業績にも多大な影響がでており、苦戦を強いられる状況にあります。さらには、お客様、取引先様ならびに弊社従業員の健康と安全確保を考慮し、一部または全部の業務を縮小または停止せざるを得ない状況です。

つきましては、誠に申し上げにくいことではございますが、下記の条件にて賃料等の御見直しをお願い申し上げる次第でございます。

誠に勝手なお願いであることは重々承知しておりますが、弊社としては今のお借りしている物件につきましても引き続き利用させていただき、貴社と末永くお付き合いをしたいと考えております。どうか一連の諸事情をご理解頂けますよう、お願い申し上げます。

本来であればご挨拶の上、直接ご訪問させて頂きお願いすべきところですが、真意を正しくお伝えすべく書面でのお願いとさせて頂きました。ご検討の程、宜しくお願い申し上げます。

また弊社といたしましても、今後も引き続き一層の経費削減や付加価値の増大を図り業績向上を目指してまいります。目下大変厳しい状況ではありますが、貴社との良好な賃貸借関係を維持強化し、発展させるために最大限努力してまいります。何卒、ご支援賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

【対象物件】

物件名：■■■■ビル■■階■■室

住所：■■市■■町■丁目■■番■■号

　現在のお支払い条件：■■■円／月　毎月■■日振込み

　希望するお支払条件：●●●円／月　●月●日振込み

以上

# 家賃減額の覚書／家賃支払い繰り延べの覚書／家賃一部支払猶予の覚書

 西暦　　　　　年　　　　月　　　　日

 （甲） 所在地：

　　 名　称：（賃貸人）

 代表者：　代表取締役　　　　　　 ㊞

 （乙） 所在地：

　　 名　称：（賃借人）

 代表者：　代表取締役　　　　　　 ㊞

甲と乙は、平成▼年▼月▼日に締結した賃貸借契約書（以下「原契約」）について、令和2年4月■日付をもって次の通り変更することに合意する。

【減額】

第１条（賃料の変更）

原契約書第○条に定める賃料「金◆◆円」を、「金▲▲円」に改める。

第2条（賃料変更の期間）

　第1条に規定する変更後の賃料は、令和2年●月分から適用する。

【繰り延べ】

第1条（賃料の支払いの猶予）

甲は、原契約書第○条に定める賃料について、令和2年●月分から令和2年□月分まで乙の支払を猶予する。

第2条（猶予する賃料の支払い）

第1条に規定する甲が猶予する賃料について、乙は令和2年□＋１月から令和▲年■月末日までに毎月按分して／一括して支払う。

第3条（敷金の充当）

乙は、第2条に規定する支払が履行できなかった場合、原契約第▲条に定める甲に差し入れた敷金から当該未払金額分を充当することに合意する。

第４条（延滞損害金）

　甲は、第1条に規定する猶予する賃料について、原契約書第○条に定める延滞損害金の規定を適用しないことに合意する。

【一部支払猶予】

第1条（賃料の支払いの猶予）

甲は、原契約書第○条に定める賃料「金◆◆円」のうち◎◎円について、令和2年●月分から令和2年□月分まで乙の支払を猶予する。

第2条（猶予する賃料の支払い）

第1条に規定する甲が猶予する賃料について、乙は令和2年□＋１月から令和▲年■月末日までに毎月按分して／一括して支払う。

第3条（敷金の充当）

乙は、第2条に規定する支払が履行できなかった場合、原契約第▲条に定める甲に差し入れた敷金から当該未払金額分を充当することに合意する。

第４条（延滞損害金）

　甲は、第1条に規定する猶予する賃料について、原契約書第○条に定める延滞損害金の規定を適用しないことに合意する。

本契約の成立を証するため、本書2通を作成し甲乙両者が記名押印の上、各１通ずつ保有するものとする。